

生徒会室はA棟2階です

平成28年11月17日(木) 生徒会執行部 発行

皆さんこんにちは、生徒会執行部です。

9月30日(金)に実施しました『駐日外交官による交流プロジェクト』関係者のメッセージが届きましたので紹介します。



タニア・ラウマヌルペ・ツポウ駐日トンガ王国特命全権大使

I wish to thank Principle Kimura, staff & the President and members of Student Body of Mikawa High School for the warm hospitality of welcome to the 33rd Cultural Festival. I was impressed by the attention given on the Climate Change and Tonga lecture. The subsequent visits to the classrooms reflected great minds of talent and curiosity in the display of artwork in drawings, Ha'amonga construction and descriptive posters on Tonga and Oceania. As such, I wish to extend an invitation to the boys and girls of Mikawa High School to visit the Kingdom of Tonga.

Our world is always changing and we see this in the Climate. Climate change and its impact is felt especially in our oceans. The storage of the carbons we emit; the beauty of the corals and the wonders of the marine life such as the southern humpback whales that are born in Tonga are assets of this ocean and Earth we must protect.

I entrust this protection of the oceans to you boys and girls of Mikawa High School that future generations will enjoy the beauty and wonders of the Pacific Ocean that join us and reaches from Japan to Tonga.

第33回文化祭にお招きいただき、木村校長先生をはじめ、スタッフと愛知産業大学三河高校全校生徒のあたたかいおもてなしの歓迎に対し感謝します。

講演として、気候変動とトンガのことに触れ関心を持たれたことに感動しました。

文化祭準備段階の教室訪問では、トンガとオセアニアに関する図面、ハアモンガの造形展示、ポスターなど、展示物のアートワークにおいて、大きな関心を持ち見ることができました。

三河高校の生徒の皆さんに、機会があれば、トンガ王国を訪問して欲しいと思います。

私たちの住む世界は、地球温暖化ガス(カーボン)により常に変わっています。そして、私たちは、気候の変化で、感じるができます。気候変動とその影響は、トンガの海で、特に感じられます。

珊瑚の美しさとトンガで生まれる南のサトウジラのような海洋生物は、私たちが守らなければなりません。この海の資産・地球は、私たちが保護しなければならないのです。

太平洋は、日本からトンガまで繋がっています。将来の世代が海の美しさを感じられるよう、私は、海の保護を三河高校の生徒たちに、あなたに委託します。将来の世代が美しさの保たれた社会で暮らせますように……。

大使秘書 吉田 仁子

この度は、第33回文化祭の準備に際し、トンガ王国大使をお招きいただき、ありがとうございました。環境問題や大洋諸国をテーマとした素晴らしい文化祭の成功をお喜び申し上げます。

このご招待に同行させていただき、御校の伸び伸びとした生徒の皆様の姿や笑顔、物怖じせずに当大使と会話を交わす姿を拝見し元気をいただきましたと共に、今回の文化祭や当館の訪問が、生徒会主体で進められたという実践力に感銘を受けました。また、校内ですれ違った際に学校関係者の方に限らず生徒の皆様が、必ずご挨拶をされたことに深く印象付けられました。

今回の訪問を機に、日湯関係に限らずJICAの活動や環境問題と様々な情報に触れながら、皆様一人一人が、その笑顔と共に将来の日本を担う素晴らしい人々に成長されることをお祈り申し上げます。

公益財団法人 五井平和財団 事業ディレクター 中山 樹

生徒会の皆さんが主体となって企画された、駐日トンガ王国大使のタニア・ラウマヌルペ・ツポウ閣下による講演会が無事成功裡に終わり、お手伝いさせていただいた当財団としても、たいへん嬉しく思います。

ツポウ大使より「トンガの海は日本の海ともつながっている。愛知ともつながっている」というお話がありましたが、そこには地球環境問題は世界の人々が一緒に考えなければならない問題である、という大切なメッセージが込められていたように思います。

ツポウ大使の気さくなお人柄に触れたり、トンガ王国での体験談を聴いたり、事前の調べ学習などを通じて、皆さんはこの国のことをきっと身近に感じただけではないでしょうか。

普段は大人相手にお仕事をされているツポウ大使も、今回の三河高校ご訪問を通じて、若い皆さんとの直接の交流を心楽しんでおられるご様子でした。

改めて、生徒の皆さんや先生方のご尽力と温かいおもてなしに、心より感謝いたします。

JICA国際協力出前講座 講師 鈴木 千咲

先日は、みなさまの貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。三河高生のさわやかな挨拶と元気なパフォーマンスにパワーをいただきました。

学生時代に海外ボランティアに参加し、世界と繋がる面白さを知った私は、青年海外協力隊に応募、トンガの高校で日本語を教える機会をいただきました。

私が考えるトンガ最大の特徴は、伝統と家族を大切にしている国だということです。日曜日は伝統衣装を着て教会に行き、伝統料理を家族で囲んでのんびり過ごします。決して物質的には豊かとは言えませんが、家族みんなで支え合って暮らしています。

トンガでは、教育制度が整いつつありますが、教師や設備不足と、教育の質は高いとは言えません。

年に一度、全国日本語スピーチコンテストが開催され、優勝者には日本での研修の機会が与えられます。

言語や文化を学ぶことを通して、広い視野を持った学生が育ち、トンガの将来を支えてほしいと願うばかりです。

自分と違う価値観や文化に出会い、お互いを認め合うこと、それは世界が平和で笑顔の溢れる場所になる第一歩だと思います。三河高校の皆さんにもこれから何かの形で世界をのぞいてほしいと思います。

最後に、この日のために活動して下さった先生方、生徒会のみなさん、トンガ担当のみなさん、素晴らしい国旗アートを作成して下さったクラスのみなさん、心から感謝しています。

生徒会会長 倉橋 諄大

はじめは、トンガについて何も知りませんでしたが、この交流プロジェクトを通してトンガと日本の文化や食での関わりや、抱えている地球温暖化による海面上昇の問題を直接知ることができ、より身近に感じ、私たちにも何かできないかと、とてもトンガについて興味を持ちました。

この貴重な経験から、今後の自分の将来に生かし役に立てるようにしていきたいと思います。

生徒会書記 鈴木 亜美

今年はトンガの大使の方が講話をしてくださいました。各クラス事前にトンガについて色々調べてから講話を聴いたと思います。そこで、調べても分からないような現地の人だからこそのお話を聞けたと思います。特に地球温暖化のお話を覚えていますが、今凄い問題になっています。

この講話をきっかけに少しでも節水・節電、地球温暖化について意識していける有意義な講演会だったと思います。